



盆 多 省

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
 ～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～
 【今月の一冊】 言語化力 言葉にできれば人生は変わる
 三浦崇宏著 SBクリエイティブ
 ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2020年8月1日 Vol. 214
 発行元 有限会社プライム・コーポレーション
 ライフコンサルタント 渡邊 敏徳
 〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
 TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

これからの働き方

今年は、本来なら東京2020～東京オリンピック開催という世界的規模の大イベントが行われ、日本中が歓喜に沸く年になっていました。それが、コロナパンデミックで一気に灯が消えてしまっただけでなく、九州地方を中心とした大水害に加え、例年通り、熱中症も加わってきました。私たちの日常が一変してしまいました。誰もこんなことを想像できなかったと思います。

日本や世界を見ても、長い歴史の中には未曾有の事態に陥り、歴史の大転換点となった年がいくつもありました。今年はその一つと言える世界規模の節目になってしまいました。私たちの健康に対する考え方や取り組みは、社会経済への面でもいろんな対策を施しながらやっていかなくてはなりません。企業においては、経費や原価などは見直さざるを得ない状況になりました。ルールが曖昧だった数多の基準も、コロナの時代では修正をしなければなりません。

そんな中、これから全国各地で不況からくる解雇労働者が溢れてくると思われます。また、雇用形態が様変わりして一つの仕事では生活が維持できない人もでてくると思います。雇用形態を考えてみると、コロナ渦で厳しい経済環境が続くことにより、今の生活が維持できなくなるなら、別の収入減を確保する副業(兼業)も考えなければなりません。終身雇用も完全に無くなり、徹底的な能力主義に変わり、労働生産の基準も変えなければなりません。そして、定年も延長されることが予想されます。企業の雇用形態もいろんなことを想定しなければいけない時代になります。

私には、最近ちょっと気になることがあります。それは“お盆の帰省”についての話です。新型コロナウイルスと経済との問題はとても頭の痛いところだと思います。県や市といった区分けがある中で、それぞれの首長さんが自分の所を最優先に考えなければいけないことはその通りだと思います。しかし、「コロナの発生している地域からの帰省はご遠慮願いたい」という発言は、「私たちの地域さえ安全ならいい」と言っているように聞こえます。その反面、経済効果のある“GoToキャンペーン”は受け入れるという矛盾はどこか合点がいきません。

現在、コロナ渦の中多くの人がとても不自由な状況にあります。しかし、三密など私たちが当たり前のようにはやっていかなければならないことは当然として、これからの生活に向けて小さなチャレンジは今この瞬間から始めていくことはとても大切だと感じています。私も一歩先を見据えて行動を始めたいと思います。

今物語をおもしろくしている

途中なんだから

不幸な生い立ち、不遇な日に遭い、敵が現れ、メンターが登場。
 でも、なかなかうまくいかない。
 やがて強くなり、師と別れ、復讐を誓う、復讐した。
 でも幸せじゃない、こんなはずじゃなかった。
 やがて裏切られ、人も離れて、絶望し、何もかもなくなり、
 本当の自分を知る。
 強がっていた自分を知る。
 本当の幸せとは？
 やがて勘違いに気づき、誤解が解け、許し、
 幸せになっていく。
 なかなかおもしろいやん、この話。
 いまのあなたは、どのあたりかな。



(心屋仁之助「奇跡の言葉」より)



【座右の銘にしたい名言】



顧客はより幸せでよりよい人生を夢見ている。製品を売ろうとするのではなく、彼らの人生を豊かにするのだ。

(スティーブ・ジョブズ/アメリカの実業家、アップル社の共同創業者)